



願書 受付中!

私立高等学校・専修学校 出願について

コロナ禍の為、大阪府下私立高等学校の出願方法は大きく変わりました。新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、窓口出願（本人が高等学校へ直接入学志願書を持って行く）から郵送出願に変更になった高等学校が多くなりました。

出願って具体的に何をするのでしょうか？

「願書」とは、試験を受けるための申し込み書類のこと。「入学志願書」といいます。この願書を高等学校や専修学校に提出することを「出願」と言います。新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、「原則郵送」の学校が多くなりました。

願書の入手、書類の記入、受験料の振り込み、郵送と受験生の皆さんにとっては初めて経験することばかりだったと思います。入学手続きが完了するまで頑張りましょう。

今回郵送出願する人は試験当日一人で高等学校まで行けるようにしておきましょう。

郵送出願の方法（Web願書の場合）

①受験する高等学校や専修学校の募集要項をよく読みましたか？

②入学志願書など完成したら中学校に提出。
※受験票は中学校で切り離し本人に返却します。
各自で保管し入試当日高校に持参します。

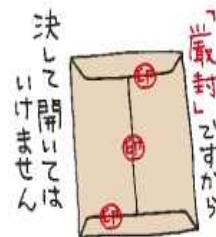
③郵送用封筒に送付書（中学校からの依頼文）・入学志願書・個人報告書（封筒入り厳封されています）を入れ封をする。
「厳封」を勝手に開けると無効になります。

④各自郵便局へ行き、窓口で「簡易書留」をお願いします。
郵便の代金は各自で支払います。控えは家庭で保管すること。

郵送出願の方法（紙願書の場合）

①入学志願書と受験票は切り離さず、両方送付します。
後日受験番号が記載され返送されます。

1月24日（火）各自郵便局に行く予定です。
※紙志願書の場合は原則窓口出願となります。



いま やるべきこと 続き

①過去問・類似した問題を解く

②1日1単元のスピードで弱点分野を問題集でカバーする

③暗記は演習の中で行う

この時期の暗記モノも、できるだけ入試問題を解く演習の中で行いましょう。単語帳や暗記カード・一問一答形式などを用いての単純暗記は、スキマ時間などを利用して短時間で終わらしましょう。

社会や理科などの暗記が多い科目も、入試になれば、単純に暗記しているかどうかを問う問題というのは非常に少ないものです。実践形式の演習の中で必要なものを再確認して頭に入れること。つまり新しいものを詰め込まず、積み上げてきたものを確実にアウトプットできるようにすることが大切です。

④やってはいけない 単純なインプットばかりの勉強

覚えるべきところをできるだけ単純暗記したい気持ちはわかりますが、単純なインプットばかり繰り返しても、いざ入試問題を解いてみると全く解けないという事態になります。

インプットも、もちろん大切ですが、必ず実践的なアウトプット中心の勉強の割合を多くしましょう。単純暗記などのインプットは、なるべくスキマ時間を利用して下さい。

⑤やってはいけない まとめノートなどを作り始める

絶対にやってはいけません。受験直前になると、なぜか新しいノートを買ってきて綺麗にノートまとめをやりだす人が少なくありませんが、ハッキリ言ってそれは逃げの気持ちからくる勉強です。まとめノートを作っていると、なんだかもの凄く勉強した気分になる上、頭もあまり使わなくて済みます。この時期まとめノートを作り出す人は、現実から目を背け、実践的な問題に取り組むことから逃げているだけではありませんか？

⑥やってはいけない 新しい問題集・参考書を買う

焦りからか、受験直前に新しい問題集や参考書に手を出す人もいますが、新しいものを解いても、まずいいことがないのでやめましょう。問題集のレベルが合わなかったり、模範解答の解き方が自分の今までの解き方と違っていたり、知らないことがたくさん載っていて必要以上に焦ったりと、受験直前ではリスクが高すぎます。

新しい問題を解きたいのなら、過去問などの入試問題を解きましょう。入試問題は全て新しい問題なのだから、今さら新しい問題集を買う必要はありません。使い慣れた今までの問題集で十分です。



⑦やってはいけない なぜかペースダウンする

「入試直前だから」という意味不明な言い訳で、直前になると勉強の手を緩める人がいます。誰が言ったか知らないけれど「入試直前はジタバタせずゆっくり過ごして体調を整えよう」みたいな無責任極まりない甘〜い言葉に、まんまと乗っかってしまうのです。

ただ、体調管理にはくれぐれも注意しましょう。時間がないからと、徹夜で勉強するのはやめましょう。朝型生活に！

まとめ

実践的な問題演習を多く取り入れることが今からの受験まで必要な勉強です。 入試問題⇒苦手復習や時間の使い方・解き方の修正。